

## 動画ファイル(MP4)について

### ●フォルダ名／ファイル名について

- 動画ファイル(MP4)と認識し再生するファイルは拡張子“MP4”が付いたものだけです。
  - ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  - ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、映像・音声が出ない可能性があります。
- 表示可能文字数は半角36文字となります。
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、\_(アンダースコア)、全角漢字(JIS 第1水準まで)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)

### 再生可能なMP4ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート (bps)	フレームレート (fps)	解像度(最大)
MPEG4	216 k～2.0 Mbps	15、30	720×480
H.264	216 k～2.0 Mbps	15、30	720×480

- ※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profile レベル3までです。
- ※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。
- ※H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profile レベル2までです。
- ※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような場所では音とびやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

オーディオコーデック	ビットレート (bps)	サンプリングレート (kHz)
AAC-LC	8～320 kbps	16、22.05、24、32、44.1、48

- ※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

上記仕様は動画再生を単体で行う前提でのものです。

案内、シミュレーションなど他の機能と同時動作すると、映像や音声に乱れが生じる可能性があります。

上記仕様から外れたMP4ファイルを再生すると、再生できなかつたり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

MP4ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

- ※動画ファイル(MP4)の作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できないことがあります。

### ●著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。